

We will make a fresh step everyday.

〈にっしん〉ミニガイド


2009年9月仮決算から




彫画:伊藤 太一



35周年そして創業90年へ

 **日新信用金庫**

〒673-0892 明石市本町2-3-20

もしもコール イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

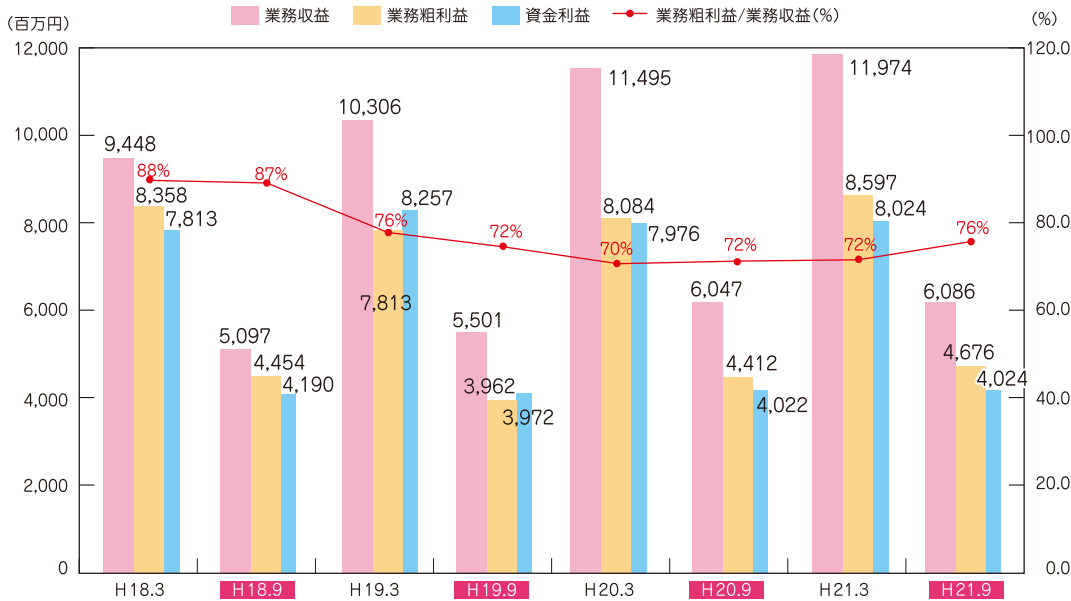
(受付時間 平日午前9時から午後5時まで)

FAX 078-912-4589

<http://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

業務収益、業務粗利益、利益率は昨年度上期に比べやや改善しました。しかし、不良債権処理費用は引き続き高い水準が続いています。この結果、21年9月期決算は残念ながら1億6千8百万円の赤字決算となりました。

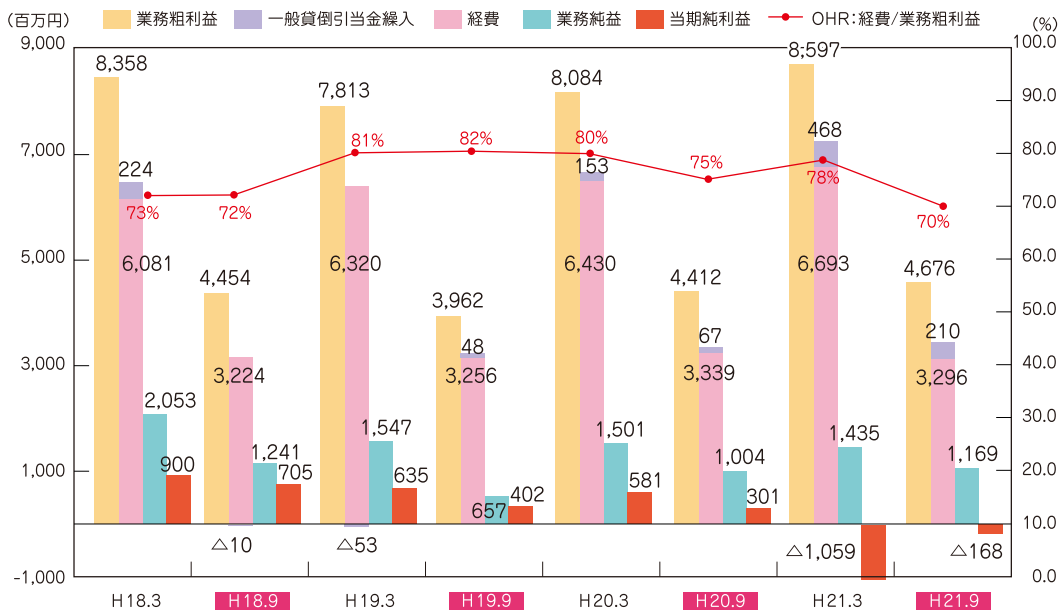
〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉



業務収益(一般企業の売上げ)は増加しています。有価証券等運用による収益が寄与しています。同様に業務粗利益(一般企業の売上総利益:売上高一売上原価)も増加しています。利益率(業務粗利益/業務収益)は少し改善しました。

しかし、資金利益(貸出金及び余資運用から生じる利益-預金利息)はほぼ前年並みにとどまりました。

〈業務粗利益-(一般貸倒引当金繰入+経費)=業務純益、当期純利益〉

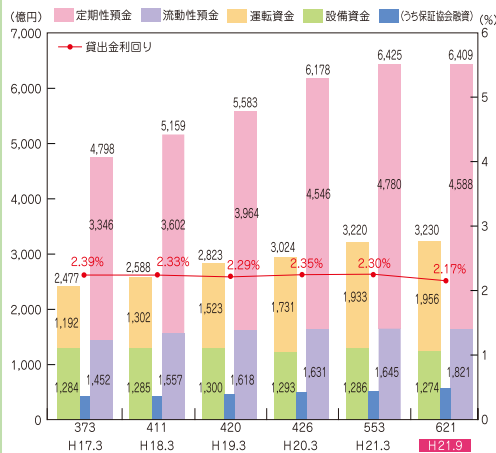


業務粗利益が増加し経費が減少したので、業務純益は前年9月期に比べて少し増加しています。しかし、貸倒引当金が増加した結果、当期純損失となりました。

不良債権処理費用を抑えることが課題です。融資先の経営の悪化を防ぎまた貸出金の保全を強化するという根本的対策に注力していますが、短期間に大きな効果を期待できません。貸倒引当金は積極的に積んでいきます。

さらに、不良債権処理費用に耐える利益を確保するよう、貸出の増強、有価証券運用の工夫、経費の削減に努めます。

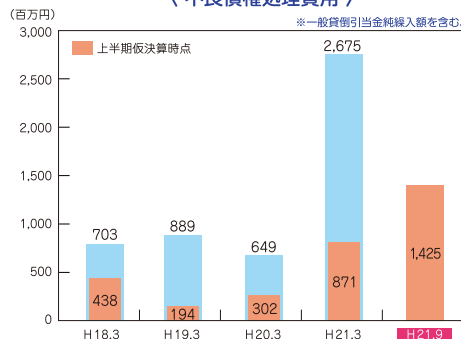
〈貸出金と預金〉



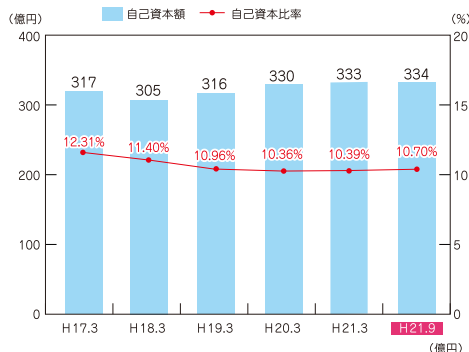
保証協会保証付融資は好調に伸びましたが、貸出全体は伸び悩みました。また、貸出金利回りも昨年暮れの短期プライムレート引下げ、低利の制度融資の増加等から低下しています。使い勝手の良い良質な資金を提供して資金需要を開拓していくことが最大の課題です。

不良債権処理費用（融資先の経営悪化に伴う貸倒引当金の積み増しなど）は、昨年度来の高い水準が続いています。融資先の経営の風向きを早期に察知し検討して、有益なアドバイスができるよう努力しています。

〈不良債権処理費用〉



〈自己資本の額と比率〉

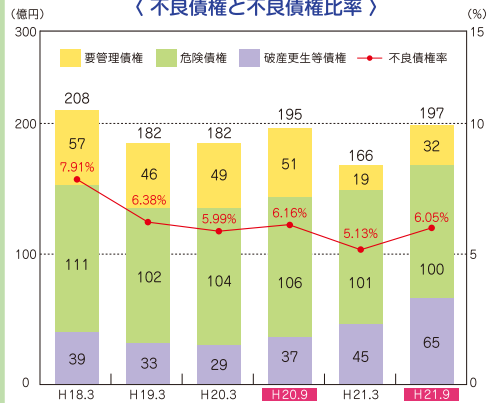


	H17.3	H18.3	H19.3	H20.3	H21.3	H21.9
繰延税金資産	18	32	28	23	26	22

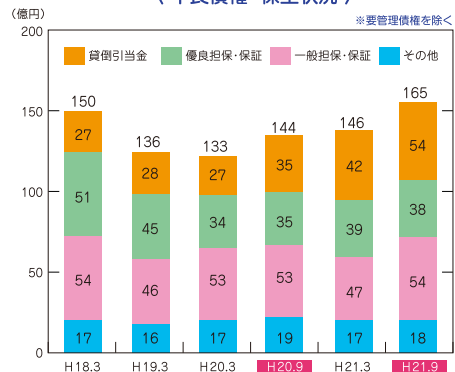
自己資本の額と比率は、ともに少し改善しました。

不良債権の額及び率は3月に比べてともに増加しています。ただ、不良債権の部分償却やサービス売却は下期に行っていますので、例年9月時点の数字はやや高止まりします。

〈不良債権と不良債権比率〉

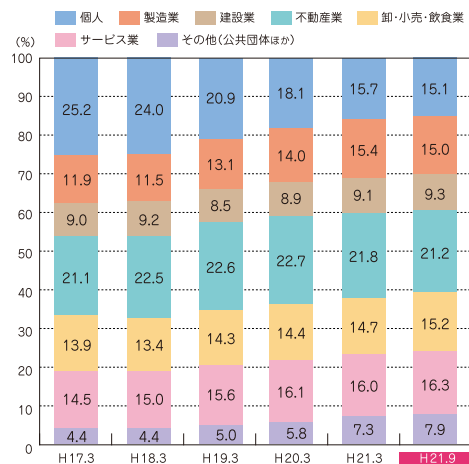


〈不良債権*保全状況〉



不良債権（要管理債権を除く。）は、その9割が引当や担保・保証により保全されています。また、未保全額はここ数年ほぼ同水準で推移しています。

〈貸出の業種別構成比〉

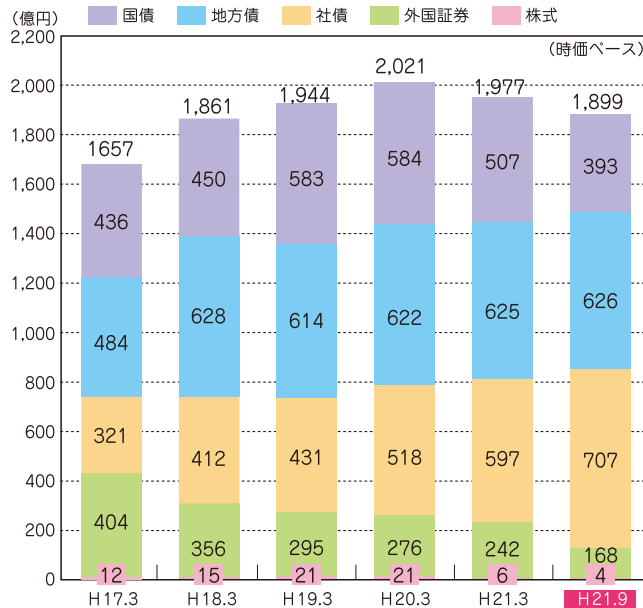


貸出の業種別構成には、近年いくつかの変化が見られます。個人(主として住宅ローン)の減少が続いています。近年、一貫して増加してきた製造業が経済情勢を反映してやや減少に転じました。その他の増加には公共団体向けが寄与しています。

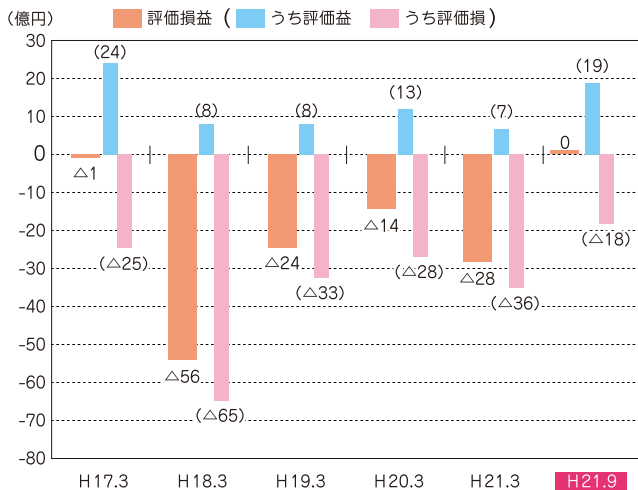
〈有価証券種類別残高〉

株式(投信を含む。)については、この3月期に大幅に処分しましたが本年度に入ってからも処分を続けています。

債券については、外国証券の一部で比較的风险が高いと思われるものの処分を引続き積極的に行う一方、評価益で年間の計画利益を確保できる債券については売却して利益を確定させることも行っています。



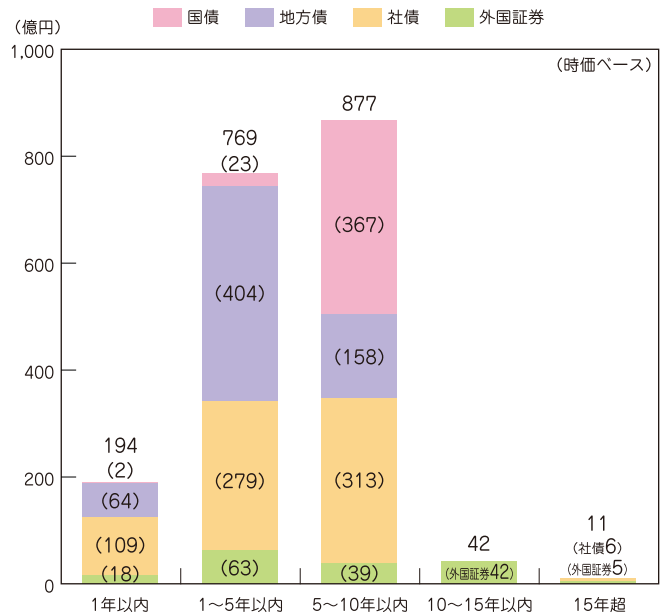
〈有価証券評価損益〉



9月末は金利が非常に低い水準にあったこともあり、49百万円の評価益となりました。

なお、当庫は、19年3月決算から、有価証券は「その他保有」に分類しており「満期保有」に分類している債券はありません。このため、上のグラフのH18.3以後は金庫の保有する全ての有価証券の評価損益を示しています。

〈有価証券(債券)の償還までの期間別残高〉



市場リスクが大きくなるように、償還まで10年を超える債券への投資は近年行っておりません。この結果、上のおり10年超の債券は減少してきております。

その他有価証券で時価のあるもの

単位:百万円

	平成21年3月末					平成21年9月末				
	取得原価 (償却原 価)	貸借対照 表計上額	評価差額	うち		取得原価 (償却原 価)	貸借対照 表計上額	評価差額	うち	
				益	損				益	損
株式	263	210	52	-	52	148	113	35	-	35
債券	174,085	172,879	1,206	783	1,989	171,381	172,644	1,263	1,894	630
国債	51,252	50,699	553	400	954	39,135	39,335	199	619	420
地方債	62,598	62,547	50	198	249	61,954	62,641	686	758	72
社債	60,234	59,632	601	184	786	70,290	70,667	377	515	138
その他	25,860	24,245	1,614	15	1,630	18,013	16,835	1,178	22	1,200
合計	200,209	197,335	2,873	799	3,673	189,543	189,593	49	1,916	1,866

「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

時価評価されていない有価証券の内容及び貸借対照表計上額

単位:百万円

		平成21年3月末	平成21年9月末
		貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社・子法人等株式及び関連法人等株式	子会社・子法人等株式	139	139
その他有価証券	非上場株式	31	30
	その他の証券	223	223